

CEFR-J レベル

A2.1

技能

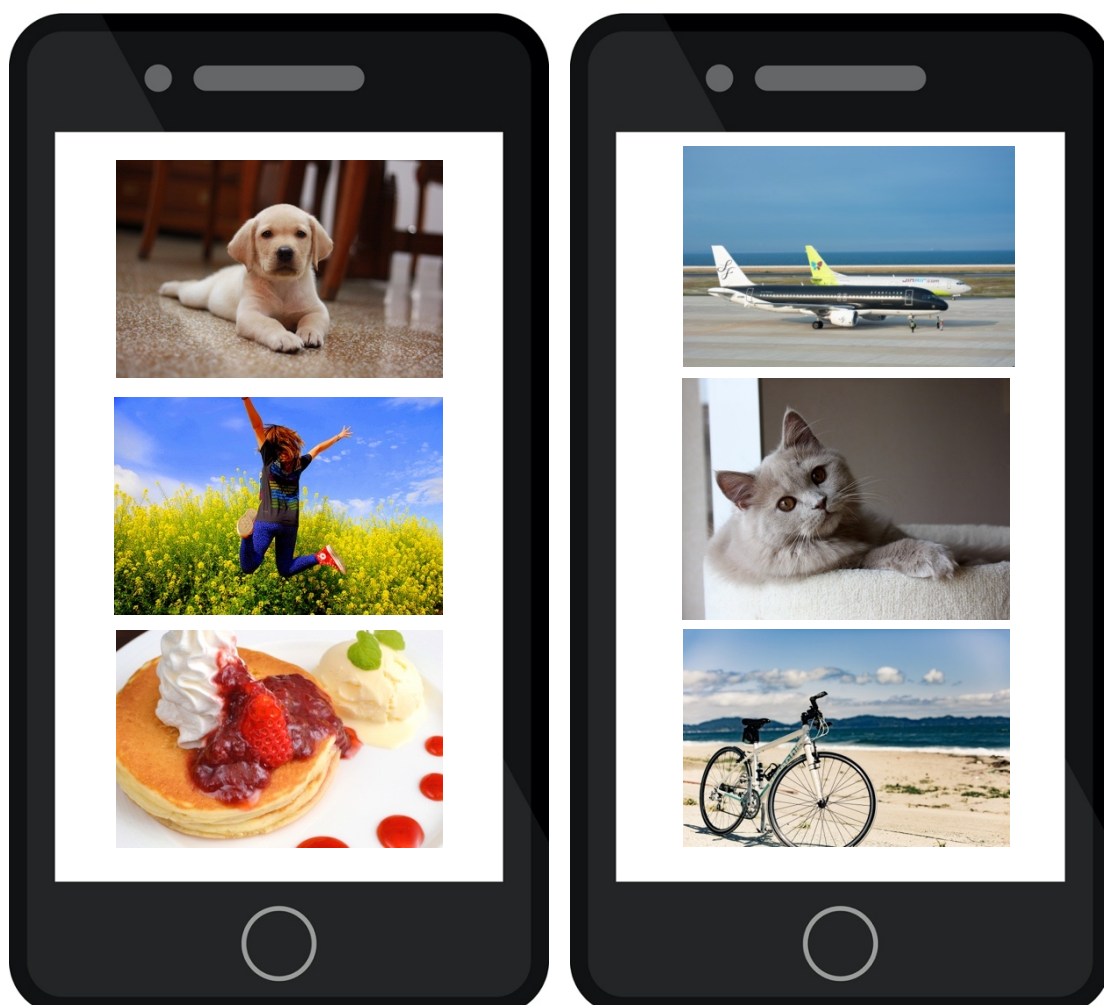
Spoken Production

Can Do descriptor

写真や絵、地図などの視覚的補助を利用しながら、一連の簡単な句や文を使って、身近なトピック（学校や地域など）について短い話をするができる。

テスト・タスク

あなたは、学校で留学生との交流クラブに入っています。ある日、クラブの部室に居合わせた 5～6 人との会話中、お互いのスマホの写真を見せ合うことになりました。下記の図をあなたのスマホ画面と仮定し、一番見せたいと思う写真をひとつ選んでそこに写っている人・物・出来事などについて話してください。内容は、架空のものでもあなたの実際の体験に基づくものでも、どちらでも構いません。準備時間は 1 分、話す時間も 1 分です。



解答例

- I have a dog. His name is Taro. He came to my house ten years ago when he was just a baby. I grew up with him. He is so smart and quiet, and all of my family members love him, but I believe I'm his best friend.
- I like cooking. I often cook something on weekends. Last week, I made pancake for my family. Now pancake is very popular among girls in Japan and we can find many pancake restaurants. As you can see, I added strawberries and ice cream, too. It tasted so nice, so my family liked it very much.

採点基準

- A: 文を使って事物を詳しく描写したり、関連するエピソードやその事物に対する感想や感情を表現豊かに説明するなどして、よくまとまった短い話をするができる。
- B: 文を使って事物を簡単に描写したり、関連するエピソードやその事物に対する感想や感情を適切に説明するなどして、ある程度まとまりのある短い話をするができる。
- C: 事物について話しているものの、断片的な事柄について言及するのみで話にまとまりがない、または写真紹介として十分な情報提供ができない。もしくは、つながりのある話をしようとしているものの、言葉が足りない、表現が不適切などの理由でまとまった内容が伝わらない。
- D: 断片的な事柄さえも伝えられない。
- (A: 当該レベルより上、B: ちょうど当該レベル、C: 当該レベルに少し届かない、
D: 当該レベルに全く届かない)

開発段階

第1期(作成) 第1期(実施) 第1期(分析)
第2期(改訂) 第2期(実施) 第2期(分析)

メモ

一部断片的な単語の羅列があってもいいが、句や文を中心に発話が成り立っていることをB評価の条件のひとつとする。なお解答例を理解できる程度の発音で話せれば、B評価である。

開発担当者

和泉 絵美